

令和5年度の教育に関する
事務の点検及び評価報告書

令和6年12月

糸魚川市教育委員会

目 次

I 教育に関する事務の点検及び評価の実施概要

1 点検と評価の趣旨	…	1
2 点検及び評価の方法	…	1
3 学識経験者の知見の活用	…	2

II 教育委員会の運営及び活動状況

1 教育委員会の構成	…	3
2 教育委員会会議開催状況	…	3
3 総合教育会議	…	3
4 教育委員会の主な活動状況	…	4

III 施策の点検・評価

第1 子どもを産み育てやすい環境の整備

1 妊娠出産支援と親子の健康増進	…	5
2 子育て支援の充実	…	11
3 子どもと子育てにかかわる連携の推進	…	16

第2 0歳から18歳までの子ども一貫教育の推進

1 就学前教育の充実	…	18
2 質の高い学校教育の推進	…	21
3 学校教育環境の整備	…	28

第3 生涯学習の振興

1 社会教育の振興	…	31
2 スポーツの振興	…	38

第4 文化の振興

1 芸術文化の振興	…	43
2 歴史・文化の継承と活用	…	49

I 教育に関する事務の点検及び評価の実施概要

1 点検と評価の趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条に基づき、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、教育に関し学識経験を有する者の知見を活用した点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することが義務づけられています。

糸魚川市教育委員会では、教育に関する事務の点検及び評価を行い、学識経験者の意見を付して報告することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、教育行政に対する市民の信頼の向上を図ります。

【参考】

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 4 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検及び評価の方法

(1)点検及び評価の対象

点検及び評価は、糸魚川市教育委員会が執行している事務・事業のうち、「第 3 次糸魚川市総合計画 基本計画」に掲げた施策を中心に行いました。

(2)点検及び評価の方法

評価の実施方法については、「第 3 次糸魚川市総合計画 基本計画」の中で

掲げる指標の達成状況や、対象年度の取組内容などを踏まえながら、各事業を3段階で評価し、評価理由と今後の課題解決に向けた取組について示し、点検及び評価を行いました。

評価	評価基準
順調	目標のとおり達成した、又は、計画通り進んでいる。
おおむね順調	概ね目標を達成した、又は、目標達成に向け進んでいる。
遅れている	目標を下回った、又は、計画に遅れが生じている。

3 学識経験者の知見の活用

法の規定に基づき、教育に関し学識経験を有する方からの知見の活用として、協議会を開催して、施策の取組に関しての総合的な評価としてご意見をいただき、今後の取組に活用しています。

教育委員会協議会の開催

日 時：令和6年10月4日 午前9時30分～午後5時

会 場：糸魚川市役所 201・202 会議室

学識経験者：高橋 守 氏

教 育 長：蘆本 修一

教 育 委 員：谷口 一之 齊藤 里沙

楠 愛 秋山 伸宏

事 務 局：教育次長、こども課長、こども教育課長、生涯学習課長、
文化振興課長

Ⅱ 教育委員会の運営及び活動状況

教育委員会は、教育行政における重要事項や基本方針を決定し、それに基づいて教育長が具体的な事務を執行します。定例会や臨時会のほか、協議会を開催しています。

1 教育委員会の構成

令和6年3月31日現在

職 名	氏 名	任 期
教育長	鶴本 修一	令和4年1月1日～令和6年12月31日
教育委員 (教育長職務代理者)	谷口 一之	令和4年5月20日～令和8年5月19日
教育委員	齊藤 里沙	令和3年5月20日～令和7年5月19日
教育委員	山本 修	令和3年8月30日～令和6年5月19日
教育委員	楠 愛	令和5年5月20日～令和9年5月19日

2 教育委員会会議開催状況

定例会を12回、臨時会を5回開催し、議案38件、報告49件、協議7件について審議等を行いました。議案38件の内訳は、人事案件13件、予算に関する意見の申出8件、条例・規則等の改正11件、その他6件となっています。

また、協議会を開催し、令和4年度の教育に関する事務の点検及び評価を行いました。

3 総合教育会議

市長と教育委員会が協議あるいは調整を行う場として「総合教育会議」が開催されました。下記議題等について協議し、意見交換を行いました。

開催年月日	会 場	議題等
令和6年2月13日	市役所会議室	第1回 ・教育大綱の改定について ・総合型地域スポーツクラブの取組について

4 教育委員会の主な活動状況

(1)教育関係会議への出席

- ・ 全県教育長会議（新潟市：4月14日）
- ・ 新潟県都市教育長協議会春季定期総会（南魚沼市：5月30日）
- ・ 新潟県市町村教育委員会連合会定期総会及び研修会（五泉市：7月21日）
- ・ 新潟県都市教育長協議会秋季定期総会（胎内市：10月27日）
- ・ 上越地方三市教育委員会連絡会総会（糸魚川市：11月17日）

(2)学校等訪問

- ・ 7月3日 大和川小学校、糸魚川東中学校、下早川小学校、能生中学校
- ・ 7月5日 能生小学校、中能生小学校、南能生小学校、磯部小学校
- ・ 7月7日 大野小学校、根知小学校、糸魚川中学校、ひすいの里総合学校
- ・ 7月13日 青海小学校、青海中学校、田沢小学校、糸魚川東小学校
- ・ 7月18日 西海小学校、糸魚川小学校

(3)式典等への出席

- ・ 4月1日 転入、新採用教職員辞令交付歓迎式
- ・ 4月1日 教育委員会年度始めの式
- ・ 4月28日 フォッサマグナパークモニュメント除幕式
- ・ 5月26日 芸術鑑賞会
- ・ 6月30日 教育懇談会
- ・ 10月6日 キャリアフェスティバルいといがわ
- ・ 10月22日 はったつ応援事業市民講演会
- ・ 10月28日 木地屋シンポジウム
- ・ 11月1日 市小・中・特別支援学校音楽発表会
- ・ 11月10日 ジオパーク学習交流会
- ・ 1月12日 マイスター・ハイスクール事業成果発表会
- ・ 3月16日 成人式
- ・ 3月28日 高校魅力化事業活動成果報告会

※ 市立学校入学式及び卒業式は、新型コロナウイルス感染防止のため
来賓出席なし

(4)先進地等の視察

- ・ 7月14日 小規模特認校、不登校特例校視察（上越教育大学、新井南小学校）
- ・ 11月16日 市外視察研修（長岡市立太田小・中学校、やすづか学園）
- ・ 11月20日 不登校対策市外視察（新発田市）

Ⅲ 施策の点検・評価

第1 子どもを産み育てやすい環境の整備

1 妊娠出産支援と親子の健康増進

- (1) 安心して出産・育児ができる環境づくり
- (2) 子どもと保護者の健康の増進

【基本方針】

安心して出産、育児ができる環境を整えるとともに、生涯を通じた健康づくりの土台を幼少期までに定着させ、子どもと保護者の健康増進を図ります。

1 施策指標

指標	現状 (R5)	中間目標 (R6)	最終目標 (R10)
市内病院出産割合	6.7%	55.0%	60.0%
健康状態がよい中学生の割合	92.2%	86.0%	88.0%

2 施策の方向

(1)安心して出産・育児ができる環境づくり

- 関係機関と連携して、安心して出産できる医療環境を整えます。
- 乳幼児健康診査等で保護者の育児不安をつぶさに把握し、支援が必要な親子には継続的に関わるなど、保護者に寄り添った支援に努めます。
- マタニティスクール、育児教室、相談会等を開催するほか、個別の訪問を行い、保護者の気持ちに寄り添った相談体制を整えます。
- 発達段階に応じた愛着形成の大切さについて啓発します。また、温かい心での子どもの見守りとしつけを地域ぐるみで進めます。
- 妊娠・出産を希望する夫婦が安心して不妊・不育治療等を受けられるよう、精神的負担や経済的負担の軽減に努めます。

(2)子どもと保護者の健康の増進

- 乳幼児健康診査の高い受診率を維持し、疾病の早期発見や健康の保持増進に努めます。
- 発達に不安を抱える子どもと保護者を早期に発見し、適切な支援につなげます。
- 「早寝早起きおいしい朝ごはん運動」を推進し、幼少期から生活リズムを定着させ、生涯を通じた健康づくりにつなげます。

- 家庭ぐるみの食生活や生活リズム改善に取り組みます。
- 親子での調理体験等を通じて「食」への関心を持つ子どもを育てます。
- 子どもの心身の健康に欠かせない外遊びやふれあい遊びなどの体験を積極的に推進します。
- 電子メディアに頼らない子育てによって、コミュニケーション能力、運動能力、自己コントロール能力を育むよう努めます。
- 関わりが不可避な電子メディアについて、家庭での幼少期からの適切な使用を促します。

3 事業内容（主要事業）

(1) 妊娠アシスト事業

妊娠届出時の面接相談や、各種マタニティスクールを実施し、出産や育児に関する知識や技術を身につけ、安定したマタニティライフを送ることができるように取組を行いました。

さらに、子育て世代包括支援センター（こども支援室）では、妊娠から出産後までの切れ目のない支援の仕組みづくりを進めました。

また、不妊症治療・不育症治療に伴う治療費の一部助成を行い、経済的負担の軽減に努めました。

【妊娠アシスト事業の利用状況】

区分	令和4年度	令和5年度
パパマママタニティスクール参加者数	52人	58人
不妊症治療費助成件数（うち妊娠成立件数）	35件（9件）	36件（15件）

(2) 親子の絆応援事業

0歳からの愛着形成推進のため、2か月児訪問、おっぱい相談、すくすく赤ちゃん広場を開催し、具体的な育児方法の助言等を行いました。

中学生を対象に産婦人科医師、助産師を講師とした性教育を実施し、生命誕生の奇跡や命の大切さについて学ぶ機会を提供しました。

【母乳育児率及び愛着形成事業参加者数】

区分	令和4年度	令和5年度
母乳育児率（4か月未満児）	46.0%	35.6%
すくすく赤ちゃん広場参加者数	延161人	延133人
正しい性教育普及事業	延312人	延309人

(3) 妊産婦支援事業

妊産婦とその家族が安心して出産・育児ができる環境づくりのため、様々な支援を切れ目なく行いました。

妊娠中や出産・育児に関する不安など妊産婦の気持ちに寄り添う相談支援のほか、産前産後ヘルパー派遣事業や産後ケア事業を実施し、身体的・精神的負担の軽減を図るなどの支援を行いました。

また、妊産婦健康診査費用助成は回数無制限で助成し、妊産婦医療費助成は自己負担額の無料化など経済的負担の軽減も行いました。

【産後の支援の現状】

区分	令和4年度	令和5年度
産後1か月程度、助産師等からのケアを十分に受けることができたと感じる割合	96.9%	91.8%

(4) 乳幼児すこやか事業

乳幼児健診等を通じて、子どもの心身の健康状態の確認や生活改善のための助言をおこないました。また、保護者が不安なく育児できるよう、保護者に寄り添った相談の機会となるよう努めました。

発達障がいや集団生活で困難を呈する可能性のある子どもを早期に発見し、適切な支援につなげられるように5歳児（年中児）発達相談会を実施しました。

歯科健診におけるむし歯の早期発見、幼児を対象としたフッ化物塗布及び市内幼児・小中学生を対象としたフッ化物洗口の実施等により、むし歯予防に努めました。

【乳幼児すこやか事業の状況】

区分	令和4年度	令和5年度
3歳児健診受診率 ※1	96.7%	100.0%
5歳児（年中児）発達相談会利用者割合	18.5%	24.7%
中学生一人平均むし歯本数	0.30本	0.30本

※1 前年度未受診者を含む。

(5) 早寝早起きおいしい朝ごはん事業

マタニティスクールや乳幼児健診、幼稚園・保育園や小中学校での健康教室などを通じて、「早寝早起きおいしい朝ごはん」の重要性や「電子メディアの健康への影響」を啓発しました。特に9歳（小学3年生頃）までの規則正しい生活リズムの定着に重点を置いています。

また、早寝早起きおいしい朝ごはん事業の市民への周知として、市民公開講座

を隔年で開催しています。

【小学1～3年生の生活リズムの現状】

区分	令和4年度	令和5年度
① 21時30分までに布団に入る割合	71.1%	68.0%
② 朝ごはん3品以上の割合	73.8%	68.3%
③ 電子メディア総使用時間2時間以内の割合	54.7%	55.8%

(6) 親子食育推進事業

妊娠期から「おいしい朝ごはん（おかずのある朝ごはん）」の重要性を啓発し、幼児期以降は、親子キッズ・キッチン等の調理体験を通じ、「食」への関心が高まるよう取り組みました。

また、各種教室や個別栄養相談等を実施し、栄養バランスのとれた食生活の実践について支援を行いました。

【親子食育推進事業の状況と園児の肥満出現率】

区分	令和4年度	令和5年度
乳幼児食事指導参加者数	894人	800人
ステップアップ離乳食講座参加者数	34人	29人
ハッピー育児会参加者数	41人	37人
親子キッズ・キッチン参加者数	438人	501人
親子キッズ・キッチン満足度	99.3%	100%
園児の肥満出現率	4.8%	5.1%

4 評価及び評価理由、課題解決に向けた取組

(1) 妊娠アシスト事業	評価	順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ パパマママタニティスクールは昨年度より参加者数が増加しており、妊婦だけでなく家族で出産、育児について学ぶ機会となりました。 ・ 妊娠から出産後までの切れ目のない支援のために、妊娠届出時面談や妊娠後期電話で妊娠、出産に関する必要な情報提供を行い、安心して出産を迎えられるよう、不安や心配が軽減するような相談に努めました。 		

(2) 親子の絆応援事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2か月児訪問やおっぱい相談等で母乳育児支援を継続しましたが、母乳育児率は昨年度より低下しました。 ・ すくすく赤ちゃん広場や正しい性教育普及事業、未来のパパママ応援事業の開催により、幅広い世代の方に愛着形成の重要性を理解していただきました。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 関係者間で母乳育児率の低下の要因分析を行い、現状に即した取組の方向性を統一し、母乳推進を図ります。 		
(3) 妊産婦支援事業	評 価	順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 産前産後ヘルパー派遣事業の利用人数は年々増加し、利用時間数も大きく増加しました。 ・ 令和3年度からは母乳相談費用助成、令和4年度からは産後ケア事業（訪問型）や出産時タクシー費用助成、出産前宿泊費助成など新しい助成制度を整備しました。令和5年度からは産後ケア事業に通所型と宿泊型も加わりましたが、宿泊型の利用はありませんでした。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 産後ケアが必要な方が、必要とする時に利用できるように産前からの制度の周知や申請の受付を行っていきます。 		
(4) 乳幼児すこやか事業	評 価	順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 乳幼児健康診査の受診率は高く、疾病の早期発見や健康の保持増進等に貢献しています。 ・ はったつ応援事業として5歳児（年中児）発達相談会などを行うことにより、保護者の不安軽減や就学に向けての途切れない支援に役立っています。 ・ 健康教室等での歯・口腔の健康に対する意識啓発、フッ化物塗布、フッ化物洗口の実施により、むし歯有病率、1人平均むし歯本数は低い水準を維持しています。 		
(5) 早寝早起きおいしい朝ごはん事業	評 価	順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 健康教室や家庭での取組等により一定の水準を維持しています。また、幼稚園・保育園、小中学校など関係機関と連携することにより、規則正しい生活リズムが定着してきています。 		

(6) 親子食育推進事業	評 価	順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ キッズ・キッチンは、令和4年度から親子キッズ・キッチンとし、保護者も調理に参加する形に一部変更しましたが、園児の自主性を尊重し、保護者はサポート役に徹するよう工夫をしながら実施しており、アンケート結果から高い満足度を維持しています。 ・ 園児の肥満出現率は、昨年度に比べ若干増加していますが、乳幼児健診や食育教室等で栄養バランスのとれた食生活について啓発し、肥満園児の保護者に対しては、個別栄養指導を実施しています。 		

2 子育て支援の充実

- (1) 子育て家庭を支える取組の推進
- (2) 保育サービスの充実
- (3) 子育てと仕事の両立支援
- (4) 地域で担う子育て支援

【基本方針】

多様なスタイルの子育てと仕事が両立でき、子育て世代が、子育てに希望と自信を持って子どもを産み育てたいと思えるよう支援し、安心して子育てができる環境づくりを進めます。

1 施策指標

指標	現状 (R5) ※	中間目標 (R6)	最終目標 (R10)
子育て環境の満足度	33.9% (R4)	60.0%	70.0%

※現状(R5)はアンケート未実施によるもの

2 施策の方向

(1)子育て家庭を支える取組の推進

- 育児相談や子育てサークルの支援等の中心となる子育て支援センターの事業内容を充実するとともに、子育て世代の居場所の充実を図ります。
- 発達支援センターめだか園では、発達や成長に不安のある子どもと保護者に対する適切な相談や支援を行い、子どもの発達を促します。
- 虐待等の発生予防や早期発見に努め、子どもに関する様々な相談に適切に対応するため、要保護児童対策地域協議会を中心に継続的に必要な支援を行います。
- 保育料の軽減や子ども医療費の助成などにより、子育てに係る保護者の経済的負担の軽減を図ります。

(2)保育サービスの充実

- 需要が増加している0～2歳の保育の場を確保するため、既存の保育園に加え、認定こども園や地域型保育事業等、多様な選択ができる環境整備を進めます。
- 一時保育や時間外保育、病児・病後児保育等、個々の要望に柔軟に対応できるように事業の拡充を図ります。

(3)子育てと仕事の両立支援

- 育児をしながら働く保護者への育児支援の各種サービスの充実を図るとともに、事業所に対して子育て世代に配慮した就労環境の整備を働きかけます。

- 男性の育児の関わりや、子育てと仕事を両立する女性への理解を呼びかけます。

(4)地域で担う子育て支援

- 子育てに関する様々な援助を求める世代と援助できる世代間の交流拡大を図り、地域全体で子育て中の家庭を支える体制や子育てしやすい環境整備を推進します。

3 事業内容（主要事業）

(1)子育て支援センター運営事業

未就園児とその保護者にとって交流の場としての機能を果たし、育児相談がしやすい環境となるよう努めました。

【子育て支援センターの利用状況】

区分	令和4年度	令和5年度
利用者数	7,547人	9,506人

(2)子ども医療費助成事業

0歳から高校卒業年齢までの子どもの医療費を助成しました。

※令和5年10月より、子どもの医療費（通院、入院、調剤）はすべて無料

【子ども医療費助成の実施状況】

区分	令和4年度	令和5年度
助成件数	51,500件	59,859件
助成給付額	119,950,172円	153,185,600円

(3)特別保育事業

・一時保育事業

家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳幼児（未就園児）を対象に、1日単位で利用できる保育を実施しました。

【一時保育の年間利用児童数】

区分	令和4年度	令和5年度
公立保育園（2園） 中央、寺地	292人	358人
私立保育園（5園） はやかわ、いくみ、能生、おひさま、ひまわり	876人	666人
合計	1,168人	1,024人

(4)休日お助け保育事業

就労等により、保護者が休日に家庭で保育できない場合に、ヴィラオレッタキッズランドで保育を実施し、保護者に対してその費用の一部を助成しました。

【休日保育の年間利用状況】

区分	令和4年度	令和5年度
利用日数	128日	78日
総利用者数	313人	253人

(5)病児保育事業

育児と仕事の両立支援のため、生後6か月から小学6年生までの児童で、病期中または病気の回復期にあつて、家庭での保育ができない児童を一時的に預かる病児・病後児保育を実施しました。

※令和5年11月、糸魚川こどもクリニック内に病後児保育室「マグノリア」開設

【病児・病後児保育の年間利用状況】

区分	令和4年度	令和5年度
延利用児童数（病児）	429人	720人
延利用児童数（病後児）	一人	131人

(6)学童保育事業

仕事等で昼間保護者のいない家庭の小学生を対象に、市内9か所の放課後児童クラブ室を開設し、放課後などに遊びを中心とした活動で子どもたちを育成し、安心で安全な生活の場を提供しました。

【学童保育の年間利用状況】

区分	令和4年度	令和5年度
登録児童数	527人	515人
延利用児童数	38,259人	39,100人

(7)ファミリーサポートセンター事業

地域全体で子育てをサポートする取組として、会員の募集に努め、事業実施しました。

【ファミリーサポートセンターの利用状況】

区分	令和4年度	令和5年度
提 供 会 員	18人	19人
依 頼 会 員	40人	51人
年間活動回数	52回	68回

4 評価及び評価理由、課題解決に向けた取組

(1) 子育て支援センター運営事業	評 価	順調
【評価理由】 <ul style="list-style-type: none"> 共働き等で早期に保育園へ預ける保護者が増えていますが、コロナ禍での予約制をやめたことで利用者は回復傾向です。 		
(2) 子ども医療費助成事業	評 価	順調
【評価理由】 <ul style="list-style-type: none"> 医療費の無料化により、市民の満足度は高いと捉えています。 		
(3) 特別保育事業	評 価	順調
【評価理由】 <ul style="list-style-type: none"> 一時保育事業の利用者数はほぼ横ばいとなっており、保護者ニーズに対応しています。 		
(4) 休日お助け保育事業	評 価	順調
【評価理由】 <ul style="list-style-type: none"> 週末に家庭で親子が一緒に過ごす時間が増えたこと等により、利用者数は前年度より減少しています。 		
(5) 病児保育事業	評 価	順調
【評価理由】 <ul style="list-style-type: none"> 利用者数の変動に応じ、国の交付金に加算して安定運営のための市独自の補助を実施しており、適切に運営しています。 		
(6) 学童保育事業	評 価	順調
【評価理由】 <ul style="list-style-type: none"> 仕事と子育ての両立を支援する制度として利用者数も堅調であり、設備面での充実も図りながら進めています。 		

(7) ファミリーサポートセンター事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 会員数は横ばいとなっており、特定の会員のみが利用する傾向があります。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域全体で子育て世帯を支えるために有効な事業であることから、事業周知を図り、会員・利用率の増加に努めます。 		

3 子どもと子育てにかかわる連携の推進

- (1) 子ども・子育て支援体制の充実
- (2) 幼稚園・保育園、小・中・高等学校の交流と連携の推進
- (3) 課題を抱える家庭への連携した対応

【基本方針】

子どもにかかわる機関の連携を図り、一貫した教育方針と切れ目のない支援で子どもを育てます。

1 施策指標

指標	現状 (R5) ※	中間目標 (R6)	最終目標 (R10)
子育てをする上で気軽に相談できる人がいる割合	90.3% (R4)	95.0%	97.0%

※現状(R5)はアンケート未実施によるもの

2 施策の方向

(1)子ども・子育て支援体制の充実

- 市民が子育てについて理解と認識を深め、家庭、地域、幼稚園・保育園、学校等が相互に協力し、地域社会が一体となった子育てを推進します。

(2)幼稚園・保育園、小・中・高等学校の交流と連携の推進

- 関係機関が情報を共有し、共通理解を深め、切れ目のない支援に取り組みます。
- 園から小学校への円滑な接続のためのカリキュラム編成や実践への取組、中学生の保育実習など、幼稚園・保育園、学校の一層の連携と協力を推進します。

(3)課題を抱える家庭への連携した対応

- 関係機関との情報共有と連携により、個々の家庭環境に応じた支援を図ります。

3 事業内容（主要事業）

(1)子ども一貫教育推進事業

【教育懇談会の開催状況】

通算回数 (実施日)	テーマ・演題・講師	対象者
第25回 (6月30日)	○講演 演題「コロナ禍後の子どもたちの 生活リズムと野外活動の関わり」 国立妙高青少年自然の家 所長 小林 朋広 氏	保・幼・小・中・ 高の保護者、教 職員の代表、学 校運営協議会 委員、市役所職

	<p>○グループ協議 テーマ「市の『子ども一貫教育』の視点から保護者・地域・学校が、野外活動において何を大切にし、子どもたちの野外活動をどのように仕組んでいくか。」</p>	員
<p>第26回 (2月2日)</p>	<p>○報告 「糸魚川市いじめ・不登校の現状と対応」 糸魚川市教育委員会事務局こども教育課 指導主事 山下 太郎</p> <p>○発表 「ひすいルーム」 ～活動の紹介と大切にしていること～ 教育相談センター適応指導教室 指導員 古見 美奈子</p> <p>○基調講演 「誰一人取り残されない学びの保障に向けて」 上越教育大学 教授 高橋 知己 氏</p> <p>○パネルディスカッション テーマ「誰一人取り残されない一人ひとりに応じた多様な学びの場をどのようにつくっていくか。」 コーディネーター：高橋 知己 氏 パネリスト：通信制高等学校代表、教員代表、 教育相談員代表、適応指導教室指導員代表</p>	<p>保・幼・小・中・高の保護者、教職員の代表、学校運営協議会委員、公民館長、主任児童委員、市役所職員</p>

4 評価及び評価理由、課題解決に向けた取組

(1) 子ども一貫教育推進事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2か月児訪問時や幼稚園・保育園の保護者会などの機会をとらえて、子育て応援BOOKを配付し、家庭と園で共通理解のもと、子育てを行う仕組みづくりを進めました。 ・ 教育懇談会では、講演や発表、パネルディスカッションなどを通して、野外活動と生活リズムとの関わりや、子ども一人ひとりに応じた多様な学びの場の現状について理解を深めることができました。教育懇談会終了後のアンケートでは、テーマについての理解が深まった等の肯定的な意見が多く寄せられました。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの電子メディアの接触時間増加が、健全な成長に与える影響について、あらゆる機会を通じ、一層の周知を図ります。 ・ 園、学校、地域、保護者との連携を密にした取組を今後もより一層拡充させ、子ども一貫教育への理解を深めていきます。 		

第2 0歳から18歳までの子ども一貫教育の推進

1 就学前教育の充実

- (1) 家庭教育の充実・強化
- (2) 乳幼児教室の充実

【基本方針】

愛着形成の重要性を家庭と共有し、より良く生きるための基礎を育てます。

1 施策指標

指標	現状 (R5) ※	中間目標 (R6)	最終目標 (R10)
1日1回は、自分の子をほめる保護者の割合（4～6歳）	99.4% (R4)	99.0%	100.0%
子どもとふれあう努力をしている親の割合（4～6歳）	70.4% (R4)	70.0%	80.0%

※現状(R5)はアンケート未実施によるもの

2 施策の方向

(1)家庭教育の充実・強化

- 講演会、乳幼児健康診査などを通して、子育ての土台となる親子の愛着形成、自己肯定感を育む子育てを啓発します。
- 2か月児訪問や子育て支援センターでの積極的な声かけなどで、保護者の不安や悩みの把握に努め、解消を図ります。

(2)乳幼児教室の充実

- 愛着形成の重要性を共有し、家庭、地域と連携した教育を推進します。
- 幼稚園・保育園での遊びを中心とした生活を通して、発達に応じたきめ細やかな支援により、豊かな感性や道徳性、課題を解決する力の育成を図ります。

3 事業内容（主要事業）

(1)子ども一貫教育推進事業【再掲】

糸魚川市子ども一貫教育方針の中から家庭でできる子育ての方法やヒントを子どもの年齢別にまとめた「子育て応援BOOK」を作成し、「0～3才版」については2か月児訪問、「4～6才版」は幼稚園・保育園の入園の際などに配布しています。

また、各幼稚園・保育園での健康教室も開催し、糸魚川市子ども一貫教育方針における家庭の役割について理解を深めました。

(2)子育て支援センター運営事業【再掲】

未就園児とその保護者にとって交流の場としての機能を果たし、育児相談がしやすい環境となるよう努めました。

【子育て支援センターの利用状況】

区分	令和4年度	令和5年度
利用者数	7,547人	9,506人

(3)親子の絆応援事業【再掲】

0歳からの愛着形成推進のため、2か月児訪問、おっぱい相談、すくすく赤ちゃん広場を開催し、具体的な育児方法の助言等を行っています。

中学生を対象に産婦人科医師、助産師を講師とした性教育を実施し、生命誕生の奇跡や命の大切さについて学ぶ機会を提供しています。

【母乳育児率及び愛着形成事業参加者数】

区分	令和4年度	令和5年度
母乳育児率（4か月未満児）	46.0%	35.6%
すくすく赤ちゃん広場参加者数	延 161 人	延 133 人
正しい性教育普及事業	延 312 人	延 309 人

4 評価及び評価理由、課題解決に向けた取組

(1) 子ども一貫教育推進事業【再掲】	評価	おおむね順調
【評価理由】 <ul style="list-style-type: none">2か月児訪問時や幼稚園・保育園の保護者会などの機会をとらえて、子育て応援BOOKを配付し、家庭と園で共通理解のもと、子育てを行う仕組みづくりを進めました。 【課題解決に向けた取組】 <ul style="list-style-type: none">子どもの電子メディアの接触時間増加が、健全な成長に与える影響について、あらゆる機会を通じ、一層の周知を図ります。		
(2) 子育て支援センター運営事業【再掲】	評価	順調
【評価理由】 <ul style="list-style-type: none">共働き等で早期に保育園へ預ける保護者が増えていますが、コロナ禍での予約制をやめたことで利用者は回復傾向です。		

(3) 親子の絆応援事業【再掲】	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2か月児訪問やおっぱい相談等で母乳育児支援を継続しましたが、母乳育児率は昨年度より低下しました。 ・ すくすく赤ちゃん広場や正しい性教育普及事業、未来のパパママ応援事業の開催により、幅広い世代の方に愛着形成の重要性を理解していただきました。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 関係者間で母乳育児率の低下の要因分析を行い、現状に即した取組の方向性を統一し、母乳推進を図ります。また、今後も愛着形成の重要性について周知し、親子の絆が深まるよう、訪問や各種教室・相談事業に取り組みます。 		

2 質の高い学校教育の推進

- (1) 確かな学力の育成
- (2) いじめや不登校のない学校づくりの推進
- (3) ジオパーク学習等による郷土愛の醸成
- (4) キャリア教育の推進
- (5) 一人ひとりの教育的ニーズに対応する体制の充実
- (6) 高校の魅力化推進

【基本方針】

家庭、幼稚園・保育園、学校、地域が連携して、自立して生きる力を身につけた子どもを育てます。

1 施策指標

指標	現状 (R5)	中間目標 (R6)	最終目標 (R10)
標準学力検査の平均の偏差値（小学校）	50.6	53.0	54.0
標準学力検査の平均の偏差値（中学校）	48.1	51.5	52.0

2 施策の方向

(1)確かな学力の育成

- 学校と家庭が連携し、日々の授業改善や家庭学習習慣の定着によって、全国標準を常に上回る学力の定着を図ります。
- 児童生徒の実態に応じたきめ細やかな学習指導のため、人的配置等の必要な支援を実施します。

(2)いじめや不登校のない学校づくりの推進

- いじめや不登校を生まない学校風土づくりのため、児童生徒の思いやりの心と、自ら考え行動する自主性を育む活動を推進します。
- 家庭や地域と連携して、地域全体で規範意識や自己有用感の向上、人間関係づくりの力等を育てる教育活動を推進します。

(3)ジオパーク学習等による郷土愛の醸成

- 地域の歴史、文化、自然、災害などを学びながら、ジオパーク学習を中心とした体験学習の充実を図り、防災意識を高めるとともに、ふるさとへの愛着と豊かな心を育みます。
- 自然災害や火災から自らの命を守る主体的な行動力を育成するため、家庭や地域と連携した取組を推進します。

(4)キャリア教育の推進

- 児童生徒が社会人・職業人として成長するために、発達段階の特性に応じ、自分の可能性を自覚し、将来像を描いて自主的に学ぶ教育活動の更なる推進を図ります。
- 学校と地域や地元企業等が連携し、児童生徒の社会貢献活動や職場体験などの機会の充実を図ります。

(5)一人ひとりの教育的ニーズに対応する体制の充実

- 子どもの悩みや課題に応じた適切な指導や支援などにより、教育相談体制の充実を図ります。
- 学校の生活や学習に困り感を持つ子どもの個別ニーズに応じた支援体制の充実を図ります。

(6)高校の魅力化推進

- 地域と連携した質の高い探究学習の提供により、生徒が目指す進路を実現するなど、魅力ある高等学校の学びを実現します。
- 3高校それぞれの特色を生かした、事業の推進を図ります。

3 事業内容（主要事業）

(1)学力向上支援事業

児童生徒の学習意欲向上を図るため、標準学力検査(NRT)の実施や日本漢字能力検定、実用英語技能検定及び実用数学技能検定の検定料の補助を行いました。

小学校全校では陰山メソッドによる学力向上対策を実施しました。集中力と基礎学力の向上を図るとともに、全校で統一的な取組ができるよう小中学校教職員を対象に学力向上プロジェクト部会を3回開催しました。

また、全国学力・学習状況調査や標準学力検査(NRT)の結果を受けて、結果を分析し、改善方法を共有するために、研修会を開催しました。

ほかに、小中学校の希望校において、授業支援及び放課後や長期休業等を活用した補習学習等に係る指導員の配置事業を実施しました。

【検定料補助金交付者数】

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
日本漢字能力検定（小学生）	390人	424人	379人
日本漢字能力検定（中学生）	88人	83人	100人
実用英語技能検定（小学生）	52人	51人	63人
実用英語技能検定（中学生）	355人	287人	285人
実用数学技能検定（小学生）	10人	8人	1人

実用数学技能検定（中学生）	36人	45人	40人
---------------	-----	-----	-----

(2)いじめ・不登校等防止対策事業

教育相談センターに教育相談員 7 人、適応指導教室指導員 3 人を配置し、児童生徒や保護者、教職員への相談活動等を行いました。

若者サポートセンターに 4 人のスタッフを配置し、利用者の社会的自立に向けた支援を行いました。

生徒指導支援員を 4 人任用し、いじめ・不登校防止に向けて、児童生徒への指導方法について各校を訪問し、教職員を指導しました。

(3)いじめ防止対策事業

令和 5 年 7 月、いじめ問題専門委員会を開催し、糸魚川市いじめ防止基本方針及び糸魚川市いじめ防止等の行動計画の改定に向けて意見をいただきました。令和 5 年 7 月より、同委員会の委員による調査委員会を立ち上げ、いじめ問題に関する調査を行いました。

全ての児童生徒を対象に、ハイパー Q-U 検査を年 2 回実施し、いじめや不登校の早期発見と予防に努めました。

(4)ふるさと糸魚川学習支援事業

幼稚園・保育園での自然体験活動や小・中学校における生活科と総合的な学習の時間において、地域に根差した、ふるさと糸魚川を学ぶジオパーク学習を実施し、成果を発表する場として「糸魚川ユネスコ世界ジオパーク学習交流会」を開催しました。市内全小学校の 3 年生若しくは 4 年生（複式学級の場合は 3・4 年生）が発表を通して感想を交流し、学びを共有しました。（参加児童 289 人）

「糸魚川ジオパークピックアップ授業プラン（歴史編）」を作成しました。奴奈川姫やヒスイ文化を中心に、各校で授業実践しやすいように、市内小中学生の共通の学習内容として授業プランを作成するとともに、授業で使用する資料についても準備しました。

(5)キャリア教育推進事業

中学 2 年生を対象にした職場体験活動は、新型コロナウイルス感染症対策を講じ、衛生面に配慮しながら実施しました。

(6)中学校キャリア教育フェスティバル事業

中学 3 年生を対象にした「キャリアフェスティバルいといがわ」は、総合体育館を会場に、生徒約 300 人と教育関係者、市内外の 50 事業者から出展いただき、開催しました。

(7)地域愛育成事業

市内の小・中学校に地域学校協働活動推進員を配置し、学校と地域の連携を図りました。

(8)コミュニティ・スクール運営事業

市内全学校でコミュニティ・スクールがスタートしてから4年が経過し、コミュニティ・スクールが果たす学校と地域の連携への理解が進んでいます。

令和5年度は、各学校の実情に合わせた連携を進めるため、学校運営協議会委員同士のコミュニケーションを深めることができるよう、各コミュニティ・スクールを支援しました。

(9)学校教育補助員等配置事業

特別支援教育における個別支援のため、特別支援学級数に応じ、小学校39人、中学校11人、特別支援学校4人、合計54人の教育補助員を配置しました。

学校司書は、糸魚川小学校（糸魚川地域）、田沢小学校（青海地域）及び能生小学校（能生地域）に1人ずつ計3人を配置し、読書量の増加や授業の充実のために図書館の活用を図りました。

(10)高校を核とした地域人材育成事業

市内3高校の魅力化を進めるため、高校魅力化コーディネーター5人体制（令和5年度末は3人）で、各高校の探究学習サポート、自習室の運営、総合型選抜対策として講座運営、志望理由書添削、面接指導などを行いました。

また、探究学習への支援や企業と連携した学外授業、各校の魅力づくりの取組に対して支援することを目的とした各高校を支援する団体（PTA等）への補助金交付や業務委託を行いました。

4 評価及び評価理由、課題解決に向けた取組

(1) 学力向上支援事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 小学校では陰山メソッドの取組を通して、基礎学力（計算や漢字学習等）の定着が図られました。・ 各種検定では、英語検定を受検する小学生は増加していますが、中学生は横ばいとなっています。・ 小・中学校ともに本事業によって、補習及び学習支援の人材を活用する学校が増え、児童・生徒の個に応じた学習を行うことができました。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 「授業改善チェックリスト」の日常的な活用とICTを活用した「分かる授業」の推進が進むように指導を継続します。GIGAスクール構想の実		

施に伴って、授業での活用実践を積み重ねます。		
(2) いじめ・不登校等防止対策事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市いじめ防止基本方針及びいじめ防止等の行動計画などにに基づき、いじめ防止に向けた取組について関係機関へ周知しました。 ・ いじめや不登校の早期発見と解決に向けて、生徒指導支援員や教育相談員等との密接な連携により、学校と教育委員会が一体となって取組を進めています。 ・ 市適応指導教室と学校との連携により、市適応指導教室に通級する児童生徒への学習支援が充実しています。 ・ 高校生相当年代以上の若者及びその保護者を対象とした若者サポートセンターの活動を通して、中学校卒業後の若者への支援体制を整えてきました。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いじめの重大化や不登校児童生徒の増加、長期化の未然防止のため、学校と市教育委員会間の早期報告・早期連携の体制構築に努めます。 		
(3) いじめ防止対策事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いじめ問題専門委員会を開催し、重大事態を防ぐために、市いじめ防止基本方針及びいじめ防止等の行動計画の改定に向けて、適切な意見とアドバイスをもらい、より実効性の高い方針や計画の作成につながりました。 ・ 全ての児童生徒を対象に、ハイパーQ-U検査を実施することで、児童生徒の悩みや学級内の様子を把握することができ、いじめや不登校の早期発見や予防につながりました。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いじめの重大事態発生防止に向けて、全教職員が法令を理解するよう、抱え込みを防ぐ校内体制を構築するよう指導・支援を継続します。 		
(4) ふるさと糸魚川学習支援事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ジオパーク学習やキターレでの防災学習のためのバス利用が各校に浸透してきました。 ・ 「糸魚川ユネスコ世界ジオパーク学習交流会」は、市内全13小学校の3年生又は4年生が参加しました。ステージ発表を通して、感想を交流することにより、学びを深めました。また、保護者・地域の方など多くの方から見ていただきました。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 園、小学校、中学校、高等学校での体系立った、より積極的なジオパーク学習を推し進めます。 		

(5) キャリア教育推進事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中学2年生の職場体験活動は新型コロナウイルス感染症対策を講じ、衛生面に配慮しながら実施しました。 ・ 小学校においては、講師を招いてのキャリア教育の講演や体験活動等が一般的に行われるようになっていきます。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「キャリアフェスティバルいといがわ」を軸に、小学校のキャリア教育出前講座、中学2年生の職場体験活動を、効果的に各校の教育活動に取り入れられるように関連付けを図ります。 		
(6) 中学校キャリア教育フェスティバル事業	評 価	順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中学3年生を対象とした「キャリアフェスティバルいといがわ」は、市内事業者のキャリア教育への理解が深まるとともに、子ども一貫教育の重要な柱として位置付けることができました。 		
(7) 地域愛育成事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校と地域の連携強化のため、各小・中学校に活動推進員を配置しています。推進員を通して、学校行事等で地域の方がボランティアとして参加し、地域と学校がつながるようになってきています。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニティ・スクールと地域学校協働活動は、地域全体で子どもたちの成長を支える一体的な取組であることから、広報等で活動についての周知を図ります。 ・ より多くの地域の人から学校におけるボランティア活動に参加してもらえるような仕組みを検討します。 		
(8) コミュニティ・スクール運営事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各コミュニティ・スクールにおいて、学校・家庭・地域で、情報、課題、目標、ビジョンなどを共有しながら、各学校の特色を生かした事業に自立的に取り組む、家庭・地域の理解を得ました。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今後も、学校運営協議会委員や保護者に学校活動への参画や教育懇談会等への参加などにより学校教育への関心を深めてもらい、地域と学校が連携して子どもを育てる環境が整うよう支援を継続します。 		

(9) 学校教育補助員等配置事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市立学校に教育補助員54人を配置し、各校の特別支援教育の充実に寄与しています。一方で、通常学級における特別な支援を要する児童生徒の増加が見られ、これらの子どもに対応する支援者を要します。 学校司書を3地域に1人ずつ継続して配置し、定期的に担当する学校を巡回することにより、児童生徒が図書室を活用しやすい環境が維持され、教職員も学習に必要な情報を共有することができました。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 支援を要する児童生徒の増加傾向、支援の必要度から、教育補助員の必要度を十分に検討した上で、各校に配置しています。一方、通常学級在籍の児童生徒への支援のため、教育補助員の増員を要求していきます。 学校司書の資質向上による図書館教育の充実に寄与するため、研修の機会の提供に努めます。 		
(10) 高校を核とした地域人材育成事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> コーディネーターは、子ども一貫教育で掲げる「自立」と「愛着」を育むために教員とは違った立場で生徒と対話し、基礎的・汎用的能力と郷土愛を兼ね備えた人づくりに取り組んでいます。 これまでの取組により、コーディネーターと学校間で信頼関係が築かれ、連携による探究学習の学び合いが活発化しており、自分の進路等に自信を持つ生徒が増えていると考えます。 取組の評価、成果を客観的に評価する必要があります。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 取組による評価、成果を客観的に評価できる仕組みを構築します。 		

3 学校教育環境の整備

(1) 教育環境の充実と教育施設の適正管理

(2) 安全・防犯対策の充実

【基本方針】

充実した教育環境と安全性を確保するために、施設の適正管理を進めます。
また、より良い教育環境を確保するために、学校の適正配置方針を検討し、計画的な改修と施設・設備の更新により、安全・安心で快適な教育環境を整えます。

1 施策指標

指標	現状 (R5)	中間目標 (R6)	最終目標 (R10)
校舎大規模改修の実施済み中学校数	1校/3校	1校/3校	2校/3校
学校トイレのドライ化率（トイレ室のドライ化割合）	63.2%	65.0%	70.0%
特別教室へのエアコン設置率	63.6%	66.3%	75.0%

2 施策の方向

(1)教育環境の充実と教育施設の適正管理

- 学校の適正規模や適正配置の検討を進め、学校適正配置方針を策定します。
- 学校施設長寿命化計画に基づき、計画的な施設改修により、施設の適正管理に努めるとともに、時代に即応した教育環境を確保します。
- ICT教育の推進を図るため、教職員に対する研修やサポート体制を整え、授業等での利用促進と、個別最適な学習、協働的な学習の推進につなげます。

(2)安全・防犯対策の充実

- いじめや不登校を生まない学校風土づくりのため、児童生徒の思いやりの心と、自ら考え行動する自主性を育む活動を推進します。
- 通学路での事故防止や防犯パトロールを継続し、地域やPTA、警察等関係機関との連携による情報共有に努め、安全対策や防犯対策を進めます。

3 事業内容（主要事業）

(1)学校改修事業

内 容	事業費	説 明
南能生小学校改修工事	3,916 千円	灯油地下タンクライニング工事
西海小学校改修工事	31,050 千円	空調設備更新工事
大和川小学校改修工事	770 千円	給水配管改修工事
	8,800 千円	給水配管改修工事（繰越明許費）
糸魚川東小学校改修工事	1,815 千円	職員玄関電気錠設置（2期）工事
青海中学校改修工事	28,274 千円	トイレ改修（建築）工事
	10,734 千円	トイレ改修（電気設備）工事
	25,192 千円	トイレ改修（機械設備）工事
糸魚川中学校改修工事	3,266 千円	駐車場舗装修繕工事
	2,700 千円	特別教室等空調設備整備（電気設備）工事

(2)学校 I C T環境推進事業

指導者用のデジタル教科書等の導入状況は、以下のとおりです。

- ・ 小学校：学年・教科を各校で3つ選択し、導入
- ・ 中学校：学年・教科を各校で9つ選択し、導入
- ・ タブレット端末で利用できるデジタルドリル『スマイルネクスト』を小学校全学年を対象に、全ての小学校に導入

(3)安全・防犯対策の充実

通学路の防犯パトロール員を83人委嘱し、登下校の安全確認を行っています。

通学路の危険個所について、警察、道路管理者、教育委員会が連携して点検を行い、ホームページで周知を行いました。

4 評価及び評価理由、課題解決に向けた取組

(1) 学校改修事業	評 価	おおむね順調
【評価理由】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校改修事業は、糸魚川市学校施設長寿命化計画に基づき、学校の長寿命化を図るため、順次改修を行っています。 ・ 長寿命化以外に、経年による老朽化に伴う修繕も随時行っており、学校からの要望や現地を確認しながら実施しています。 		

<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学校の大規模改修工事は、長寿命化を図るために順次行っているもので、令和４年度からは青海中学校トイレ（令和５年度まで）の大規模改修を実施しており、計画的に改修を進めています。 ・ 小学校は老朽化による劣化が進んでいる学校もあり、今後計画的に改修を進めていく必要があります。 ・ 学校へのエアコン（冷房設備）設置について、特別教室への設置は６割と進んでおらず、感染症や熱中症のリスクもあり、計画的な設置が必要です。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 安全、安心な学習環境が確保できるように施設の維持管理を行います。 ・ トイレ洋式化や空調設備の設置等など、感染症にも対応できるよう衛生環境や居住環境の改善を図ります。 ・ 長寿命化のための改修は、老朽劣化度や危険性、改修の有効性等を勘案した整備優先度に基づき、計画的に実施します。 ・ 近年の夏の暑さを踏まえ、避難所にもなる学校体育館へのエアコン設置を検討します。 		
(2) 学校ＩＣＴ環境推進事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ プログラミング教育やＩＣＴ機器の活用方法について、教職員に対する研修やサポート体制の充実を図るため、学校ＩＣＴ支援員を配置しています。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業でのＩＣＴ機器が円滑に利用できるよう、引き続きサポート体制を充実します。 ・ 児童生徒への情報モラルやリテラシーの理解を進め、適切な利用ができるよう情報教育を行います。 		
(3) 安全・防犯対策の充実	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防犯パトロール員を配置していますが、１校が未配置となっています。 ・ 通学路の危険個所について、関係機関が連携して毎年確認を行っています。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防犯パトロール員を確保するため、周知に努めます。 ・ 通学路の危険個所については、学校や関係機関だけでなく、地域住民からも認識してもらうため、広く周知に努めます。 		

第3 生涯学習の振興

1 社会教育の振興

- (1) 地域と連携した社会教育の推進
- (2) 生涯学習機会の充実
- (3) 施設の適正管理と有効活用
- (4) 図書館サービスの充実

【基本方針】

市民一人ひとりの学びの機会、またその学びを活用する機会を充実させ、豊かな人生と持続可能な社会の実現を目指します。

1 施策指標

指標	現状 (R5)	中間目標 (R6)	最終目標 (R10)
地域学校協働活動ボランティアを行う市民の割合	1.8%	3.0%	5.0%
図書館利用者数	55,103人	63,000人	85,000人
市民一人あたりの貸出冊数	4.5冊	5.3冊	5.5冊

2 施策の方向

(1)地域と連携した社会教育の推進

- 個人の学びを地域で活用する循環型の生涯学習社会の実現を図るため、地域ぐるみで子どもを育む地域学校協働活動や、地区と一体的に行う公民館活動など、幼少期から高齢期までの幅広い年代の人の地域の社会教育活動への参画の機運を高めるとともに、地域と連携した公民館の運営体制について検討します。

(2)生涯学習機会の充実

- 正しい生活リズムの定着を主軸に、多様化する生活スタイルに対応した家庭教育支援を充実させます。
- 未来を担う子どもたちが、ふるさとでの豊かな将来を想像できるよう、地域の自然や魅力を生かした事業を提供し、郷土愛あふれる青少年を育成します。
- 情報化社会に求められる学習ニーズに対応し、人と人、人と地域の継続的なつながりを作る学習機会を提供します。
- 地域の人材を育むことを目的に、大人の学び直しを推進します。

(3)施設の適正管理と有効活用

- 生涯学習センターや地区公民館などの施設の適正管理を行います。特に、地区公民館は、地域のコミュニティセンターとしての一面があることを踏まえ、機能充実を図るとともに、計画的な改修を実施します。
- 市民の声を聞きながら、新たな図書館のあり方について検討します。

(4)図書館サービスの充実

- 民間の活力やノウハウを活用し、効率的な運営や専門性の向上により、窓口サービスの充実を図ります。
- 利用者ニーズの把握に努め、図書や視聴覚資料など資料の充実を図ります。
- 子ども読書推進計画に基づき、読書のきっかけとなる場や本に親しむ機会を提供するための環境整備や啓発活動を行います。
- 社会情勢の変化に対応し、新しい技術を取り入れた図書館サービスのあり方について検討を進めます。

3 事業内容（主要事業）

(1)地域愛育成事業【再掲】

市内の小・中学校に地域学校協働活動推進員を配置し、学校と地域の連携を図りました。なお、推進員を配置していない学校は、公民館と連携しています。

【地域愛育成事業参加者数】

区分	令和4年度	令和5年度
地域学校協働活動推進員	13人	16人
学校支援ボランティア（防犯パトロール含む）	16,224人	17,193人

(2)青少年活動事業

青少年の豊かな心、たくましく生きる力、郷土愛を育むことを目的とした交流を伴う体験学習事業を実施しました。

小学生を対象としたキャリア教育の取組である「キッズフェスタ」は、小学校から高校生までの学生ボランティアを活用したワークショップの運営など新たな取組を行いながら会場を1か所に集約して実施しました。

高校生の地域に対するボランティア活動をコーディネートする「青春（アオハル）サポーター」では庁内各課の事業と連携し、サポーター数が増加しました。

【青少年活動事業参加者数】

区分	令和4年度	令和5年度
ワクワク探検隊参加者数	延32人	延13人

海とあそぼう参加者数	中止	中止
キッズフェスタ参加者数	延103人	延109人
<small>アオハル</small> 青春サポーター	延57人	延99人
青海少年の家事業	延276人	延302人

(3)家庭教育支援事業

就学時検診や移行学級の機会を活用して保護者に向けて家庭教育の大切さを伝える講演会などを行う「子育て学習」、親子のふれあいや子どもたちの探求心や好奇心を育むことを目的に自然体験活動を行う「ふるさと楽習親子塾」、子どもの居場所づくりや家庭学習の習慣づけ、図書館の利用促進を目的として開設する「土曜自習室」、父親の子育て参加に取り組む「お父さんといっしょ」を開催しました。

また、生命の大切さや性についての正しい知識を知ってもらう「生命の安全教室」を開催しました。

【家庭教育支援事業参加者数】

区分	令和4年度	令和5年度
子育て講座（学童期・思春期・中学生等）	546人	504人
ふるさと楽習親子塾	122人	117人
土曜自習室参加者数	84人	91人
父親向け講座「お父さんといっしょ」	20人	20人
生命の安全教室	11人	36人
地区家庭教育支援事業	677人	679人

(4)成人教育事業

各種公民館行事や学び直し、人材育成事業を目的とした「おとなのワクワク探検隊」、生涯学習講座では鉾ヶ岳の山小屋整備の記録映像を鑑賞し、トークセッション等を行った「鉾ヶ岳の山小屋物語」や、地球の温暖化や異常気象をテーマとした放送大学公開講演会等を開催しました。

【成人教育事業参加者数】

区分	令和4年度	令和5年度
おとなのワクワク探検隊	12人	5人
その他生涯学習講座 （R5鉾ヶ岳の山小屋物語、糸魚川学びウォーク、リース教室、放送大学講座）	278人	242人

(5)地区公民館施設整備事業

内 容	事業費	説 明
木浦地区公民館調査・設計委託	6,907 千円	設計業務委託 地質調査委託
地区公民館エアコン更新	3,530 千円	西能生、浦本、西海、大野

(6)生涯学習施設整備事業

内 容	事業費	説 明
青海地域支館ＬＥＤ化（その１）工事	7,508千円	支館のＬＥＤ化 2 館
青海地域支館ＬＥＤ化（その３）工事	8,415 千円	支館のＬＥＤ化 3 館

(7)図書館資料整備事業

図書（3,987冊）の購入により図書館資料の充実に努めました。

「ジオパークコーナー」「相馬御風コーナー（市民図書館）」の常設展示のほか、季節やテーマに関連した本を展示し、利用者に興味を持ってもらう環境づくりを図りました。

また、広報やホームページで新刊図書の紹介を掲載し、情報発信に努めました。

【市民図書館蔵書冊数】

区分	令和4年度	令和5年度
市民図書館	115,131冊	112,068冊
能生図書館	56,059冊	57,093冊
青海図書館	77,888冊	78,610冊
3 館合計	249,078冊	247,771冊

(8)絵本ふれあい事業

赤ちゃんと保護者が絵本を通して楽しい時間を過ごすために本をプレゼントするブックスタート事業や、ギターレやジオパルなど図書館以外のスペースに絵本を設置し、訪れた人が本に触れ、気軽に読書を楽しめる場所となる「まちなか図書館」を開設しました。

【絵本ふれあい事業参加者数等】

区分	令和4年度	令和5年度
ブックスタート参加者数	165人	131人

おはなし会	508人	504人
図書館イベント（雑誌リサイクルフェア、R5 絵本作家講演会、図書館探検隊 等）	209人※	1,636人
図書館における絵本の貸出冊数	36,369冊	34,420冊

※図書館イベント：令和4年度は雑誌リサイクルフェアのみ。

4 評価及び評価理由、課題解決に向けた取組

(1) 地域愛育成事業【再掲】	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校と地域の連携強化のため、各小・中学校に推進員を配置しています。推進員を通じて、学校行事等に地域の方がボランティアとして参加し、地域と学校がつながるようになってきています。 ・ 学校支援ボランティアの活動が前年度から増加していますが、ボランティアのなり手不足や高齢化が課題となっています。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に推進し、こども教育課と情報共有を図りながら子どもたちの成長を支えていきます。 		
(2) 青少年活動事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自然体験事業「ワクワク探検隊」について、青少年の自然体験等を指導する市民団体である「糸魚川アクトキッズ」へ委託し、実施しました。 ・ 職業体験事業「キッズフェスタ」は市内外の事業者・技術者の協力を得て、多種多様な職業体験を行うことができました。 ・ 「青春（アオハル）サポーター」は周知が進み、多くの学生がボランティアに参加しました。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「ワクワク探検隊」などの自然体験活動を通じて、青少年一人ひとりが自分自身で考えることを身につけられるような事業を展開します。 ・ 「キッズフェスタ」は、より多くの方が参加しやすくなるよう日程の調整及びアンケート結果を生かした講師の選定など内容の改善を図ります。 ・ 「青春（アオハル）サポーター」は、高校生が自己肯定感を高められるようにアンケート結果を分析し、事業の拡大を図ります。 		
(3) 家庭教育支援事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「ふるさと楽習親子塾」は、親子で参加することで、親子の絆を深めると 		

<p>ともに、ふるさとの自然について学ぶことで、自分が住んでいる地域の良さを発見することにもつながっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「土曜自習室」は、今年度から能生地域でも実施し、糸魚川、青海と合わせた3地域で開催しています。子どもの居場所の一つとして徐々に浸透してきていますが、周知不足との声もあります。 ・ 「お父さんといっしょ」は、生活リズムの定着と、母親と比べて一緒に過ごす時間が少ない父親とのつながりを深めることを目的に、夏休みと冬休みに実施しました。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「土曜自習室」については、地域の方から支援員としての協力を得ながら、引き続き実施していくとともに、利用の促進と周知を図るために広報やホームページなどでの情報発信を行います。 ・ 家庭教育の基本は「生活リズムの定着」と「家族のふれあい」が重要と考えますので、親子で参加できる「ふるさと楽習親子塾」及び家庭教育の大切さを学ぶ「子育て学習」等を引き続き実施していきます。 		
(4) 成人教育事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「おとなのワクワク探検隊」に参加した大人がそこで学んだことを活かし、別の生涯学習事業で子どもたちに指導することができました。 ・ 生涯学習講座は多様な学習機会を提供することができましたが、若い働く世代の参加が少ないと感じられました。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会人の学び直しに対するニーズの高まりに対応するため、様々なジャンルの学び直し講座や指導者育成講座の実施、従来の単発での講座だけでなく、働き盛りの人の関心の高い語学教室など、継続性をもった事業の実施を企画していきます。 		
(5) 地区公民館施設整備事業	評 価	順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 木浦地区公民館は令和6年度の建築工事へ向け、実施設計と地質調査を実施しました。関係機関と連携しながら建築への準備等を進めます。 ・ 公民館エアコンの入れ替えについては更新時期を確認しながら、今後も計画的に行っていきます。 		
(6) 生涯学習施設整備事業	評 価	順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 繰越明許工事となった青海地域支館のLED化工事は、今年度で終了しました。 		

<ul style="list-style-type: none"> ・ 工事を発注する際には、社会状況を勘案し、不測の事態が生じた場合でも滞りなく遂行できるように余裕を持った発注を行います。 		
(7) 図書館資料整備事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 窓口業務を民間に委託し、専門的な手法を取り入れたことによって、図書館に興味や関心を持ってもらえるような展示や行事を開催し、利用促進を図ることができました。 ・ 社会情勢や利用者からの要望、蔵書の構成を考慮しながら、資料の選書を行い、資料の充実に努めました。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き、資料の充実を図り、民間業者のノウハウを生かした魅力的な書架づくりに努め、新たな利用者の確保と利用の促進につながる取組を行っています。 		
(8) 絵本ふれあい事業	評 価	順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 絵本の貸出冊数が能生・青海図書館では増加していますが、市民図書館では減少しています。 ・ ブックスタート事業では、コロナ禍で実施できなかった絵本の読み聞かせを再開し、絵本の紹介や家庭での読み聞かせのポイントなどを案内しました。 ・ 「まちなか図書館」を継続して実施し、ジオパルには鉄道関連の本、キターレには絵本や読み物、季節や市で行った事業に関連した本など、各施設や来館者に合わせた本を配置しました。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 絵本貸出冊数の減少の要因を検証し、利用者のニーズの把握に努め、利用してもらえるような絵本の選書を行います。 ・ 「まちなか図書館」に設置してある絵本や図書の入れ替えを定期的に行い、多くの人から本に触れてもらえる場所になるよう努めます。 ・ ブックスタート事業は子ども読書活動推進計画に基づき、令和6年度から母子手帳発行時に絵本をプレゼントするプレブックスタート事業、2歳児を対象としたセカンドブック事業など、子どもの成長段階に合わせた絵本をおすすめし、親子で本を読む楽しさを感じてもらえる取組を行います。 		

2 スポーツの振興

- (1) スポーツを通した健康づくりの推進
- (2) 競技スポーツの振興
- (3) 施設の適正管理と環境整備

【基本方針】

夢と希望を与えることができるスポーツを通じ、健康づくりや生きがいづくりの市民意識の高揚を図るとともに、スポーツの魅力向上を目指します。

1 施策指標

指標	現状 (R5)	中間目標 (R6)	最終目標 (R10)
一人の市民が公の施設でスポーツ活動を行う回数	5.7回	6.8回	9.9回

2 施策の方向

(1)スポーツを通した健康づくりの推進

- 軽スポーツ等に親しめる機会を提供し、健康寿命の延伸と仲間づくりを進めます。
- 「いつでも」「どこでも」「だれでも」気軽にスポーツに親しみ、人との交流を促進するスポーツクラブ等の活動を支援します。

(2)競技スポーツの振興

- スポーツ協会等への支援を行い、様々なジャンルのスポーツで質の高い指導が可能となるよう、各種競技団体とも協働して講習会や研修会を行うとともに、他市のスポーツ協会とも連携して、競技力の向上を目指します。
- プロスポーツ選手の実技観戦や指導者講習の実施により、実際に見て体感する機会を提供し、選手の育成や競技力の向上に向けた取組を進めます。

(3)施設の適正管理と環境整備

- 使用状況等を勘案し、効果的な整備・管理に努めます。

3 事業内容（主要事業）

(1)スポーツ推進事業

いきいきスポーツ教室（3種目）、市民スポーツ教室（11種目）、地区スポーツ教室（7地区）や水泳教室を実施し、気軽に参加できる環境づくりに努めました。

冬季スポーツ振興助成事業として、子どもたちへのリフト乗車料金の助成を実施し、スキー等のウインタースポーツに親しむ機会を増やす支援を実施しました。

市民総合体育祭（22種目）、駅伝大会及びスキー大会を実施し、市民の参加と各種団体等と連携した取組を実施しました。

全国大会等出場者激励金を団体16件、個人17件（29人）、合計33件交付しました。その内訳は小・中学校14件、高校6件、小・中・高校1件、一般12件です。

そのほかに、新潟県駅伝大会への出場支援、中学校軟式野球大会の開催支援を行いました。

また、市民誰もがスポーツに親しめる環境づくりを目的として総合型地域スポーツクラブ体制づくりを目指した地区スポーツトライアル事業では、2地区でスポーツ教室を通年で開催し、延べ4,380人の参加がありました。

国が進める「部活動改革」及び「中学校部活動の段階的な地域移行」の取組に関しては、大学教授等有識者、学校関係、競技団体、文化芸術団体、PTAなど外部委員による検討委員会を開催し、糸魚川市の基本方針等の検討を進め、5種目6クラブが地域クラブ活動を開始しました。

【各種スポーツ教室開催状況】

区 分	令和4年度	令和5年度
いきいきスポーツ教室 種目数、延べ受講者数	3種目 220人	3種目 235人
市民スポーツ教室 種目数、延べ受講者数	12種目 162人	11種目 181人
地区スポーツ教室 地区数、延べ受講者数	6地区 459人	7地区 791人
市主催水泳教室 講座数、延べ受講者数	2講座 35人	2講座 31人
地区スポーツトライアル事業 種目数、延べ受講者数	2地区6種目 1,251人	2地区8種目 4,380人
冬季スポーツ振興助成事業 助成件数	4,363件	3,112件
海洋スポーツ普及振興事業 参加者数	9人	40人

(2)体育団体等支援事業

糸魚川市スポーツ協会、ジュニア育成団体に補助金等による支援を行いました。
（競技種目別団体30団体、学校体育団体5団体）

【スポーツ協会加盟状況】

区分	令和4年度	令和5年度
加盟団体数	35団体	35団体
加盟者数	6,110人	5,954人
ジュニア補助団体数	44団体	46団体

(3)スポーツ施設整備事業

内 容	事業費	説 明
教生第 2 号 美山球場改修工事	42,635千円	ファウルポール改修 2本 緩衝材改修 511㎡ 門扉改修 2箇所 ファウルライン設置 102m
教生第22号 総合体育館屋内排水管改修工事	4,242千円	メインアリーナ雨水配管改修 雨水排水管取替 延べ47m 天井取り外し復旧 30.8㎡ 内壁取壊し復旧 13.3㎡
教生第 1 号 名引山テニスコート人工芝改修 工事	21,071千円	人工芝張替工事 1,513㎡
教生第 4 号 美山球場防球フェンス改修工事	2,552千円	1 塁側・3 塁側防球フェンス改修 L=39.4m H=2.0m
教生第 6 号 美山多目的グラウンド改修工事	5,338千円	1 塁側防球ネット改修 L=20.0m H=8.6m
教生委第 3 号 美山陸上競技場改修工事実施設計 業務委託	2,882千円	美山陸上競技場改修工事実施設計 業務 一式
教生第 7 号 美山陸上競技場改修工事	148,307千円	ウレタン舗装改修 切削・オーバーレイ 4,940㎡ 洗浄・トップコート 3,920㎡
教生第 8 号 美山球場スコアボード改修工事	3,135千円	屋根改修 39㎡ 外壁改修 33㎡
教生第 9 号 美山第 1 駐車場災害復旧工事	契約額 6,880千円 R6へ繰越	ふとんかご工 B1.2m×H0.5m L=92m 盛土法面整形工 A=220㎡ L型側溝改修 L=20m L型側溝用集水桝設置 N=1基
教生第10号 美山球場バックスクリーン改修 工事	契約額 19,800千円 R6へ繰越	バックスクリーンパネル改修 L=18.2m H=8.48m

【体育施設利用状況】

区分	令和 4 年度	令和 5 年度
施 設 数	31施設	31施設
利用団体数	8,891団体	11,797団体
利用者人数	137,994人	165,463人

【学校施設利用状況】

区分	令和4年度	令和5年度
開放施設数	19施設	19施設
利用団体数	4,069団体	4,655団体
利用者人数	68,936人	80,133人

4 評価及び評価理由、課題解決に向けた取組

(1) スポーツ推進事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種スポーツ教室やスポーツ大会の開催を通じ、広く競技スポーツに親しめる場の提供に取り組みました。 地域住民が主体となって、いつでも・どこでも・だれでもがスポーツを通じた健康づくりに取り組める環境づくりを目指した地区スポーツトライアル事業や健康増進課、福祉事務所、学校・保育園と連携したニュースポーツ、軽運動の出前講座を開催し、健康づくりと地域コミュニティづくりに取り組みました。 利用希望が重複する施設は、曜日や時間帯の調整により、有効利用を図りました。また、市立小中学校及び市内の高校と連携した学校施設の開放により、有効利用と利用者の希望に沿ったスポーツ活動の場の提供に努めました。 国が示す「中学校の部活動改革」及び「中学校部活動の段階的な地域移行」の方針に則し、糸魚川市立中学校の休日の部活動の段階的な地域移行に向けた体制づくりとして、有識者を含めた外部委員による検討委員会を設置し、必要な対策の検討を開始しました。5種目6クラブが中学校部活動と連携した活動を開始しています。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 競技スポーツ等の振興及び推進に対し、少子高齢化、人口減少の影響による指導者数の減少傾向があり、今後の指導者の育成・確保に向けた研修会や資格取得費用の支援を図ります。 ニュースポーツ、軽運動などの市民スポーツ教室や、出前講座等を開催し、生涯スポーツの振興と市民が広くスポーツに親しめる環境づくりを引き続き進めます。 競技スポーツ・生涯スポーツ団体、ジュニア育成団体など、地域で活躍するスポーツ団体のネットワークづくりを図り、地域が主体となったスポーツ推進体制づくりを進めます。 総合型地域スポーツクラブ、地域クラブ活動体制づくりの基礎として、指導者の確保育成を図ります。 		

(2) 体育団体等支援事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 加盟団体の会員数は減少傾向にあるものの、加盟団体数は維持しています。 ・ 全国大会等の上位大会出場件数は33件と、多種目で大勢の選手の皆さんの活躍が見られました。 ・ 各加盟団体においては活発に活動していますが、スポーツ協会全体の一体的な活動に苦慮しています。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 競技力向上やスポーツ指導者の養成とその資質向上を目指すため、上部団体やスポーツ協会及び加盟団体と今後も連携を図ります。 ・ 指導者を対象にした講習会の開催による資質向上や、自主自立を見据えたスポーツ協会の事業評価や連携方法を検討します。 		
(3) スポーツ施設整備事業	評 価	順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国の補助金等を活用し、公園スポーツ施設のうち、美山陸上競技場、名引山テニスコート、美山球場の改修工事を行いました。美山陸上競技場においては、公認更新に必要となる整備と合わせ、老朽化した走路等の舗装工事を行いました。 ・ 市単独事業として美山多目的グラウンドのネット嵩上工事を行いました。今後、総合体育館やナイター照明のLED化や長寿命化に向けた施設の計画的な改修を進めていきます。 ・ 各施設の改修等については、老朽劣化度や危険性、改修の有効性等を勘案した整備優先度に基づき、計画的に実施します。 		

第4 文化の振興

1 芸術文化の振興

- (1) 市民の芸術文化活動への支援
- (2) 優れた芸術文化の鑑賞機会の提供
- (3) 文化施設の有効活用

【基本方針】

市民の心の豊かさを育むため、芸術文化の振興を図ります。

1 施策指標

指標	現状 (R5)	中間目標 (R6)	最終目標 (R10)
年間市民一人当たりの文化事業参加回数 ※1	0.4回	1.0回	1.5回
年間市民一人当たりの文化施設利用回数 ※2	2.0回	1.9回	2.4回

※1 美術展や文化ホール事業等、市が関連する文化事業の参加者数／人口

※2 糸魚川市民会館、青海総合文化会館、ビーチホールまがたま、能生マリンホールの利用者数／人口

2 施策の方向

(1)市民の芸術文化活動への支援

- 市民の主体的な芸術文化活動を支援し、若い年齢層を含む多様な世代間の交流を図ります。
- 学校や市民団体などと連携し、郷土にゆかりのある文化人の顕彰などにより、文化の振興と郷土愛の醸成を図ります。

(2)優れた芸術文化の鑑賞機会の提供

- 心豊かな市民生活のため、音楽コンサートや演劇、美術展など優れた芸術文化に触れる機会を提供します。
- 学校をはじめ、市民団体や地域等と連携しながら、若い世代が文化に親しむ機会を設けます。
- 集客型事業のほか、メディアの活用やアウトリーチなど、多様な手法で鑑賞機会を提供します。

(3)文化施設の有効活用

- 市民会館などの文化施設については、引き続き多くの方から様々な文化活動に利用されるように努めます。
- 文化施設の利便性や効率性を考慮しながら、計画的に改修整備します。

3 事業内容（主要事業）

(1)文化活動支援事業

市民の自主的な鑑賞事業の実施を支援することにより、優れた舞台芸術を鑑賞する機会の充実を図るための支援制度です。コロナ禍により、令和2、3、4年度は実績がありませんでした。

【文化活動支援事業支援状況】

区分	令和4年度	令和5年度
支援件数	0件	2件
補助額	0円	892,000円
入場者数	0人	784人

(2)文化協会支援事業

補助金による支援及び人的支援（事務局代行）を行いました。4月にコロナ禍で3年間中止としていた「会員交流会」を行うことができました。5月に「ささゆり茶会」、3月に「文化協会フェスティバル」を実施しました。

【事業実施状況】

区分	令和4年度	令和5年度
会員数	112団体 2,354人	112団体 2,379人
事業数（総合）	3件	4件
事業数（部会）	6件	5件
参加者数	2,268人	1,959人

(3)相馬御風顕彰事業

隔年で短歌大会と俳句大会を開催、令和5年度は俳句大会を開催しました。

また、令和5年は御風生誕140年と春よ来い100年記念の年であり、市主催はもとより、他団体や官民の協働により様々な事業を展開しました。

市主催事業では俳句大会のほか、企画展、講演会、作品展、「御風さん」ぬりえ

コンテスト、御風学習のための学校向け貸切バス利用助成など実施し、広く相馬御風の周知を図りました。

【短歌・俳句大会実施状況】

区分	令和４年度	令和５年度
応募人数	1,766人	2,366人
応募作品数	2,072首	2,812句

※令和４年度は短歌大会、令和５年度は俳句大会を実施

(4)美術展覧会事業

糸魚川市美術展覧会（市展）及び市展賞作品展、青海美術展、能生作品展、御風生誕140年・春よ来い100年記念作品展を実施、画廊きららでは常設展示を行いました。

また、糸魚川市美術展覧会では出品数が減少傾向にあることから、芸術文化活動を体験する場を設けることで、芸術文化活動への関心を高めるきっかけとなるよう、芸術文化活動体験教室（初心者向けの絵画教室）を実施しました。

【美術展覧会・作品展・美術展等実施状況】

区分	令和４年度	令和５年度
入場者数	2,198人	2,652人
作品数	509点	605点

(5)鑑賞推進事業

優れた舞台芸術等の鑑賞機会を提供するとともに、市民参加型事業をはじめ、老若男女を問わず鑑賞可能なジャンルの公演事業充実を図りました。

【鑑賞推進事業実施状況】

区分	令和４年度	令和５年度
事業数	16回	26回
鑑賞者数	6,122人	8,190人

(6)文化ホール施設改修事業

老朽化、経年劣化による不具合が多くなっており、利用者の利便性を確保するため、優先度の高い施設の改修工事等を行いました。

【青海総合文化会館施設改修事業】

内容	事業費	説明
舞台吊物機構改修工事	30,800 千円	ライト関係昇降装置等の更新
直流電源装置蓄電池更新工事	5,302 千円	制御弁式据置鉛蓄電池の更新
舞台用カメラ設備更新工事	2,816 千円	舞台用カメラ・モニターの更新

4 評価及び評価理由、課題解決に向けた取組

(1) 文化活動支援事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 補助金申請が4年ぶりにあり、学校アウトリーチを含む内容のものもあり、施策の方向とも合致しました。事業の復調を感じていますが、申請者が固定化されてきているという課題もあります。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、新規利用意向のある団体の相談に応じていきます。 		
(2) 文化協会支援事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> アフターコロナ直後の急激な復調の落ち着きが見られ、また、高齢化で団体存続、運営の後退が進む中、活動意欲を失わないよう助言等を行いました。コロナ禍で3か年中止となっていた「会員交流会」を再開できました。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、助言等を行っていきます。 		
(3) 相馬御風顕彰事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 一般の部の応募数は増加傾向にありますが、児童・生徒の部は少子化もあり、年々減少傾向にあります。 インターネットを用いた作品募集を実施し、全国から広く応募があります。 指導者、地元選者の高齢化が進み、市内学校で「短歌、俳句教室」等の実施が困難になっています。 相馬御風の業績周知という点では、顕彰事業の効果が小さいという課題がありました。令和5年度講演会は御風顕彰につながるものとなりました。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童・生徒が俳句・短歌に関心や親しみをもち、将来の指導者育成（御風顕彰）につながるよう取組を継続します。 		

<ul style="list-style-type: none"> ・ インターネットでの作品募集を継続し、御風の業績周知に努めます。 		
(4) 美術展覧会事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人口減や自己表現方法の多様化などにより、入場者数、出品数が減少傾向にあり、出品者の高齢化や固定化も課題となっています。 ・ 令和4年度から糸魚川市美術展覧会の会場を変更、ワンフロアでの展示としたことで、来場者から概ね好評をいただいています。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き、作品制作の裾野を広げるための活動を行い、多くの方から展示会場に来場いただくための方策を検討します。 		
(5) 鑑賞推進事業	評 価	順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 優れた芸術文化の鑑賞機会を提供するため、幅広いジャンルで、老若男女が楽しめる鑑賞事業を継続的に企画し、実施しています。特に近年では、女性と子どもをターゲットとした事業展開とするよう努めています。 ・ コロナ禍反動の急激な復調と思われませんが、来場者の足もホールに向いてきていると感じています。 ・ 事業ごとの来館傾向を分析することでニーズ把握に努め、芸術文化の公演実施に取り組みます。また、引き続き民間の旅行商品とのコラボ（舞台鑑賞後に夕食と温泉等）企画、広告冊子のチケットプレゼント企画にも協力するなど、取組を多様化して集客を進めます。 		
(6) 文化ホール施設改修事業	評 価	遅れている
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民会館を除く市内3か所のホールは、老朽化、経年劣化により、改修や修繕、更新が必要となっており、計画的な改修工事を実施すべく年次計画を立てて取り組んでいます。 ・ 近年、保守点検等で複数の要修繕箇所が指摘されていますが、突発的な修繕も含めて多額な費用を要することから、計画どおりに進んでいません。 ・ 施設の長寿命化を念頭に、予防保全的な改修や修繕を計画するものの、財政計画との兼ね合い等から計画どおりに進んでいません。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 耐用年数を経過した施設の予防保全的な修繕、改修を行うことを念頭に置きつつ、財政計画を考慮しながら優先順位を決めて、対応を進めます。 ・ 令和5年度は市公共施設等総合管理指針個別計画の改定年であり、計画の見 		

直しを進めました。

2 歴史・文化の継承と活用

- (1) 文化財の保存と活用
- (2) 伝統文化の継承と活用
- (3) 文化財の適正収蔵と公開の強化
- (4) 博物館施設の充実と活動の推進

【基本方針】

ふるさと糸魚川に誇りを持ち愛する心を育むため、文化財や伝統文化の保存と活用を図ります。

1 施策指標

指標	現状 (R5)	中間目標 (R6)	最終目標 (R10)
博物館・資料館入館者数	101,372人	70,000人	100,000人

2 施策の方向

(1)文化財の保存と活用

- 市民、事業所、行政の協働により文化財を守り、活用し、伝える体制を築くとともに、歴史・文化による魅力ある地域づくりを行うため、描く将来像を「地域総がかりで文化財を次世代に確実に継承し、歴史文化の魅力にあふれる誇れるまち」とし、当市の文化財の総合的指針となる「糸魚川市文化財保存活用地域計画」を策定しました。

(2)伝統文化の継承と活用

- 伝統文化を次世代に継承できるよう、講座等学習の場の提供、映像記録の収集と活用を行うとともに、地域及び同様の文化財敬称団体との連携、協力体制の構築を図り、伝承・保存活動を支援します。

(3)文化財の適正収蔵と公開の強化

- 文化財を適正に保存・活用するため、展示や管理運営方法を見直し、既存施設の有効活用等による施設整備を図るとともに、計画的な企画展、特別展、巡回展の開催などによる指定文化財の積極的な公開と解説の機会増を図ります。

(4)博物館施設の充実と活動の推進

- フォッサマグナミュージアムや長者ヶ原考古館において、糸魚川の貴重な自然・文化資源や資料を研究・収蔵し、その成果を展示・教育活動を通じてわかりやすく発信します。

- フォッサマグナパークの断層露頭の保全と枕状溶岩の野外展示の改良を行い、周辺の自然・文化資源との回遊性を考慮した保全と整備を進めます。

3 事業内容（主要事業）

(1)国指定文化財整備事業

国指定天然記念物「青海川の硬玉産地及び硬玉岩塊」の本質的価値の保護と保存及び活用推進を図るため、大学教授、各種団体や地区の代表、行政職員等で構成された策定委員会による審議を行い「国指定天然記念物 青海川の硬玉産地整備基本計画」を策定しました。

(2)埋蔵文化財発掘調査事業

試掘確認調査を4か所（大野地区、東寺町ほか）で行いました。

【試掘確認調査】

区分	令和4年度	令和5年度
遺跡・地点数	6か所	4か所
調査規模	440㎡	69㎡

(3)埋蔵文化財保存・活用事業

対象事業なし

(4)文化財保護事業

【文化財管理・調査・継承】

区分	令和4年度	令和5年度
表示物（標柱・解説版）設置数	1件	0件
調査・記録	0件	1件
助成件数	3件	1件

【ジオパーク歴史講座・市内遺跡講座】

区分	令和4年度	令和5年度
講座数	13講座	9講座
聴講者数	232人	248人

(5)博物館活動推進事業

ア 展示活動

内容	会期・会場	説明
【ミニ展示】台湾ジオパークとの交流	4月13日～5月14日 FMMふるさと展示室	台湾ジオパークと糸魚川ジオパークとの交流を紹介
【ミニ展示】レスキューしたヒスイの展示	4月15日～3月31日 FMMふるさと展示室	市民からの連絡により河川等で盗掘の恐れがあるヒスイを保護し展示
【ミニ展示】GW特別企画石のカード展示	4月29日～5月7日 FMM研修室前廊下	糸魚川でみつける30種類の石を紹介するカード「石のまちコレクション」の紹介
【ミニ展示】「石のまち糸魚川でみつける岩石・鉱物展」	4月29日～7月2日 FMMふるさと展示室	ガイド団体「カワセミ・スタディー・ツアーズ」のメンバーが集めた糸魚川の岩石・鉱物を展示
【ミニ展示】「偽りの浮遊」	6月21日～7月13日 FMMふるさと展示室	海洋プラスチックで作ったアート作品を展示し、環境問題について問題提起
【特別展】「石のまち糸魚川展」	7月15日～9月2日 FMM研修室	新潟県の石となったヒスイをはじめ、糸魚川の石の魅力を紹介
【にいがた貝友会50周年】新潟県産陸・淡水産貝類パネル展	9月30日～10月31日 FMMふるさと展示室	新潟県に生息するカタツムリやキセルガイなどの巻貝やシジミなど陸産貝類をパネルで紹介
【ミニ展示】「貫通石」	1月6日～3月17日 FMMふるさと展示室	トンネル開通地点の石「貫通石」を展示
【ミニ展示】「石の見立て雛・大日方 勝さん水石&美石展示」	2月22日～3月3日 FMMふるさと展示室	糸魚川市横町の大日方勝さんが長年収集した水石・美石のうち糸魚川産の石、お雛様に見立てた石を展示
【日本ジオパークネットワーク巡回展】「地球時間の旅」	3月2日～3月31日 FMM研修室	日本の成り立ちと関連した生態系や文化・歴史をテーマとした巡回展示。全国のジオパークや博物館から収集した資料を展示

イ 教育普及研究活動

区分	令和4年度	令和5年度
ジオパーク野外講座	6回 65人	6回 76人
ジオパーク講座	5回 93人	4回 85人
記念講演会	2回 86人	5回 330人
おもしろみゅーじあむ	9回 421人	7回 588人

ジオパーク関係講座	0回 0人	5回 84人
石のガイド養成講座	17回 202人	20回 205人
学校教育との連携	143回 6,661人	110回 4,613人
公民館等への出前講座	83回 2,372人	91回 3,726人
調査研究活動（学会発表含む。）	23回	30回

(6)フォッサマグナパーク整備事業

内容	事業費	説明
フォッサマグナパーク駐車場用地測量	1,228 千円	フォッサマグナパーク国道側駐車場拡張工事に伴う用地測量業務

4 評価及び評価理由、課題解決に向けた取組

(1) 国指定文化財整備事業	評 価	おおむね順調
【評価理由】 <ul style="list-style-type: none"> ・ おおむね適切に管理し、着実に実施しています。 【課題解決に向けた取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 整備事業を行う年度は、計画的に実施します。 		
(2) 埋蔵文化財発掘調査事業	評 価	順調
【評価理由】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 近年、減少傾向にありますが、開発に伴う法令行為については、円滑に事業を推進しています。 ・ 埋蔵文化財の適切な保存のため、開発行為等の情報収集と円滑で効果的な事業を継続して実施します。 ・ 民間宅地造成事業の量に伴い、調査量が変化しますので、引き続き状況に応じて実施します。 		
(3) 文化財保護事業	評 価	おおむね順調
【評価理由】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 市内文化財の保存・活用について方向性を定め、総合的・一体的に取り組むための「糸魚川市文化財保存活用地域計画」を策定しました。 ・ 木地屋シンポジウムを開催し、いまだに未解明な部分の多い木地屋の移住の実態等を取り上げ、2日間で約250人の参加がありました。 【課題解決に向けた取組】		

<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後、収蔵庫のあり方や支援のあり方について検討いたします。 		
(4) 博物館活動推進事業	評 価	順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新潟県の石に指定されたヒスイをはじめとする糸魚川の多様な石をテーマとした特別展を開催し、石への興味・関心の喚起を図りました。 ・ ジオパーク講座、ジオパーク野外講座、石のガイド養成講座などを開催し、教育普及活動に取り組み、文化資源の理解促進を図りました。 		
(5) フォッサマグナパーク整備事業	評 価	順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 来場者の利便性向上を目的に国道側の駐車場を拡張するため、用地測量業務を行いました。 ・ 令和6年度に駐車場拡張工事を行う予定です。 		

事業評価一覧

第1章 子どもを産み育てやすい環境の整備

施策	主要事業	評価	頁
1 妊娠出産支援と親子の健康増進	(1) 妊娠アシスト事業	順調	8
	(2) 親子の絆応援事業	おおむね順調	9
	(3) 妊産婦支援事業	順調	9
	(4) 乳幼児すこやか事業	順調	9
	(5) 早寝早起きおいしい朝ごはん事業	順調	9
	(6) 親子食育推進事業	順調	10
2 子育て支援の充実	(1) 子育て支援センター運営事業	順調	14
	(2) 子ども医療費助成事業	順調	14
	(3) 特別保育事業	順調	14
	(4) 休日お助け保育事業	順調	14
	(5) 病児保育事業	順調	14
	(6) 学童保育事業	順調	14
	(7) ファミリーサポートセンター事業	おおむね順調	15
3 子どもと子育てにかかわる連携の推進	(1) 子ども一貫教育推進事業	おおむね順調	17

第2章 0歳から18歳までの子ども一貫教育の推進

1 就学前教育の充実	(1) 子ども一貫教育推進事業【再掲】	おおむね順調	19
	(2) 子育て支援センター運営事業【再掲】	順調	19
	(3) 親子の絆応援事業【再掲】	おおむね順調	20
2 質の高い学校教育の推進	(1) 学力向上支援事業	おおむね順調	24
	(2) いじめ・不登校等防止対策事業	おおむね順調	25
	(3) いじめ防止対策事業	おおむね順調	25
	(4) ふるさと糸魚川学習支援事業	おおむね順調	25

	(5) キャリア教育推進事業	おおむね順調	26
	(6) 中学校キャリア教育フェスティバル事業	順調	26
	(7) 地域愛育成事業	おおむね順調	26
	(8) コミュニティ・スクール運営事業	おおむね順調	26
	(9) 学校教育補助員等配置事業	おおむね順調	27
	(10) 高校を核とした地域人材育成事業	おおむね順調	27
3 学校教育環境の整備	(1) 学校改修事業	おおむね順調	29
	(2) 学校ICT環境推進事業	おおむね順調	30
	(3) 安全・防犯対策の充実	おおむね順調	30

第3章 生涯学習の振興

施策	主要事業	評価	頁
1 社会教育の振興	(1) 地域愛育成事業【再掲】	おおむね順調	35
	(2) 青少年活動事業	おおむね順調	35
	(3) 家庭教育支援事業	おおむね順調	35
	(4) 成人教育事業	おおむね順調	36
	(5) 地区公民館施設整備事業	順調	36
	(6) 生涯学習施設整備事業	順調	36
	(7) 図書館資料整備事業	おおむね順調	37
	(8) 絵本ふれあい事業	順調	37
2 スポーツの振興	(1) スポーツ推進事業	おおむね順調	41
	(2) 体育団体等支援事業	おおむね順調	42
	(3) スポーツ施設整備事業	順調	42

第4章 文化の振興

施策	主要事業	評価	頁
1 芸術文化の振興	(1) 文化活動支援事業	おおむね順調	46
	(2) 文化協会支援事業	おおむね順調	46
	(3) 相馬御風顕彰事業	おおむね順調	46
	(4) 美術展覧会事業	おおむね順調	47

	(5) 鑑賞推進事業	順調	47
	(6) 文化ホール施設改修事業	遅れている	47
2 歴史・文化の継承と活用	(1) 国指定文化財整備事業	おおむね順調	52
	(2) 埋蔵文化財発掘調査事業	順調	52
	(3) 文化財保護事業	おおむね順調	52
	(4) 博物館活動推進事業	順調	52
	(5) フォッサマグナパーク整備事業	順調	53